



あつま

6月定例会号

No. 191

令和5年8月発行

議会だより



6月24日
第51回あつま田舎まつり

第3回臨時会「新しい議会構成」	2
第2回定例会・補正予算	3～6
第2回、第3回、第4回臨時会・補正予算	7
全員協議会	8
委員会活動レポート（新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会）	9～10
研修会レポート（町村議会議員研修）	11
一般質問「ここが聞きたい」	
伊藤富志夫、菅原文子、澤口千里、橋本 豊、寺坂康生5氏が問う	12～16
令和5年度議会議員町内行政視察	17
議決案件（賛否状況）	18～19
議会のうごき、スポーツ少年団（厚真ファイターズ）	20

第3回臨時会

「新しい議会構成」決定

5月12日の初議会で議会の構成が決まりましたので、皆様に紹介をいたします。



監査委員
高田 芳和



副議長
吉岡 茂樹



議長
渡部 孝樹



吉岡 茂樹



○折坂 泰宏



◎橋本 豊

産業建設常任委員会



三國 和江



○澤口 千里



◎伊藤 富志夫

総務文教常任委員会



寺坂 康生



高田 芳和



菅原 文子



秋永 徹

<p>※ 議会運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 三國 和江 ○ 伊藤 富志夫 吉岡 茂樹 高田 芳和 橋本 豊 	<p>※ 議会広報特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 秋永 徹 ○ 寺坂 康生 高田 芳和 伊藤 富志夫 菅原 文子 澤口 千里 	<p>※ 北海道胆振東部地震復興特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 伊藤 富志夫 ○ 秋永 徹 他議長を除く全議員 	<p>※ 新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 吉岡 茂樹 ○ 高田 芳和 他議長を除く全議員 	<p>※ 胆振東部消防組合</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋永 徹・折坂 泰宏 	<p>※ 安平・厚真行政事務組合</p> <ul style="list-style-type: none"> 菅原 文子・寺坂 康生 	<p>※ 胆振東部日高西部衛生組合</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋本 豊・澤口 千里
--	---	---	--	--	--	--

◎=委員長 ○=副委員長

6月定例会

第2回定例会が6月13日、14日に開催され、議会より報告2件、5人の議員による一般質問のほか、議案11件、同意14件、承認1件、諮問1件、報告4件などを審議した。
また、閉会中の新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会の委員会調査報告、監査委員から現金出納例月検査の結果が報告された。

同意1号、同意14号
厚真町農業委員会委員
の任命

厚真町農業委員会委員
に、次の者を任命するこ
とに同意した。

- 再任 小谷 和宏 氏
- 再任 米澤 慶一 氏
- 再任 工藤 英暢 氏
- 再任 中島 純一 氏
- 再任 高橋 宥悦 氏
- 再任 藤本 裕一 氏
- 再任 中島 広幸 氏
- 再任 長谷川和司 氏
- 再任 斉藤 仁 氏
- 再任 上田 輝美 氏
- 再任 安田久美子 氏



新任 岡嶋 修司 氏

新任 早坂 信一 氏



新任 澤田 和博 氏



諮問第1号
人権擁護委員候補者の
推薦

人権擁護委員候補に、
次の者を推薦することに
同意した。

新任 森本 雅彦 氏



議案第1号
厚真町手数料徴収条例
の一部改正

第2条「1枚」を「1
通」に改める。
公布の日から施行

議案第2号
厚真町印鑑の登録及び
証明に関する条例の一
部改正

個人番号カードを提示
し、自ら暗証番号を入力
して印鑑登録証明の交付
申請ができる。
公布の日から施行

議案第3号
厚真町高齢者グループ
ホーム維持運営基金条
例の一部改正

題名に「等」を加える。

議案第4号
厚真町浄化槽市町村整
備推進事業に関する条
例の一部改正

第3条第1項に「以下

「事業計画」という」を
加える。

議案5号
豊沢地区大規模盛土造
成地滑動崩落防止工事
(その5)請負契約の締
結

契約の方法
指名競争入札
契約金額
8億4590万円
契約の相手方
丸彦渡辺・木本特定建
設工事共同企業体

議案第6号
辺地に係る公共的施設
の総合整備計画の変更

辺地の概況
・ 辺地を構成する町村又
は字の名称
勇払郡厚真町字幌内
・ 辺地地点数
263点

公共的施設の整備を必要
とする事情と整備計画
・ 道路、本事業は、町道
幌内左岸線の道路改良事
業である。本道路は1車

線道路であり、車両のす
れ違いができず、更に老
朽化が進んでいることか
ら、北部地域の避難路と
して地域交通の確保に資
するものである。事業費
3億1389万9千円か
ら5億9350万円に変
更。

・ 観光・レク施設、本事
業は、厚幌ダム建設が整
備された幌内地区におけ
る、ダム周辺の有効活用
を図る環境整備事業であ
る。
事業費3億7950万円
で変更なし。
事業期間は、令和3年度
、令和7年度までの5年
間。

議案第7号
令和5年度厚真町一般
会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に
歳入歳出それぞれ1億1
689万円追加し、歳入
歳出の総額を97億960
1万円とする。
主な事業は、庁舎周辺
等整備事業638万円、

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支援事業1890万円、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業3937万円、子育て支援給付事業384万円等。

議案第8号

令和5年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定補正（第1号））

歳入歳出それぞれ120万円を追加し、総額を4300万円とする。

主な事業は、居宅サービス事業費トイレ修繕料、高齢者グループホーム運営基金積立金。

議案第9号
令和5年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ1480万円を追加し、総額を7億9694万円とする。

主な事業費は、水道未

普及解消事業、配水管布設工事。

議案第10号

令和5年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ118万円を追加し、総額を2億7438万円とする。主な事業費は職員人件費。

議案第11号

令和5年度厚真町一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ7065万円を追加し、総額を98億6667万円とする。

主な事業費は、上厚真市街地店舗整備事業。

承認第1号

専決処分（令和4年度厚真町一般会計補正予算（第20号））の承認

歳入歳出それぞれ3億6977万円追加し、総

額を100億1062万円とする。理由は、特別交付税等の確定に伴う剰金の基金積立及び財源更正のため。

報告第1号
厚真町情報公開条例の運用状況の報告（令和4年度分）

(1)公開請求は11件あり、11件全部公開。

請求内容は、軽自動車税申告書、固定資産台帳平成30年度北海道胆振東部地震における建物被害データ等。

(2)不服申立て件数0件

報告第2号
厚真町土地開発公社の業務報告

令和4年度事業報告並びに令和5年度事業計画及び資金計画の報告があった。

報告第3号
予算（令和4年度厚真町一般会計）の繰越

令和4年度厚真町一般会計に係わる繰越明許費について、翌年度繰越額9億623万円と報告があった。

報告第4号
予算（令和4年度厚真町公共下水道事業特別会計）の繰越

令和4年度厚真町公共下水道事業特別会計に係わる繰越明許費について翌年度繰越額580万円と報告があった。

報告第5号
委員会調査報告（新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会）

委員会開催状況
令和5年5月22日
事務調査
庁舎周辺等整備基本構想・基本計画等の説明があった。

報告第6号
現金出納例月検査の結果報告

監査委員から令和4年度の2月分・3月分・4月分と令和5年度の4月分の現金出納例月検査の結果について報告があった。

一般会計補正予算

1億8754万円を追加し、歳入歳出それぞれ予算の総額が

98億6667万円となる。

庁舎周辺等整備事業（役場庁舎）

補正額 638万円

総務課庁舎周辺等整備推進室

現役場庁舎の活用方針（保存活用または解体）を検討するため、詳細な耐震診断調査の実施および補強に要する概算工事費の算出を行う。

事業概要

- (1) 役場庁舎現状の調査
- (2) 劣化度調査
- (3) 補強に要する概算工事費の算出

業務実施期間

令和5年7月中旬から令和5年11月下旬（予定）

財源内訳

一般財源 638万円

交流促進センター運営事業

補正額 150万円

産業経済課経済G

令和4年度のA重油実績が、実績見込みを超えたため、実績見込みと実績の差額を基本協定書に基づき精算する。

事業概要

A重油経費の増加
実績見込み(2196万円)→実質(2346万円)150万円増

財源内訳

一般財源 150万円

ゼロカーボン推進事業

補正額 700万円

まちづくり推進課ゼロカーボン推進室

事業概要

上厚真地区において、ゼロカーボン推進施策の一つとしZEH等の次世代高性能省エネ住宅の普及促進に資する新規分譲地の開発を進めるため、エリアデザインとコンセプトの策定を行う。

財源内訳

一般財源 700万円

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業

補正額 3937万円

産業経済課経済G

新型コロナウイルス感染症の影響による景気の落ち込み等、町内事業者の売り上げや消費者の家計は厳しい状況となっているためプレミアム付き商品券を発行し、域内の経済循環により本町経済活動のテコ入れを図る。

事業概要

- 1 事業主体 厚真町地域活性化商品券実行委員会
- 2 商品券の取扱概要
 - (1)①商品券の名称 「あつまエール商品券」
 - ②プレミアム率 25%
 - ③購入価格 1口10,000円(額面12,500円)
 - ④販売総数 14,000口 1世帯 10口+世帯員に1人2口最大20口まで
- (2)①商品券の名称 「あつまフードエール商品券」
- ②プレミアム率 50%
- ③購入価格 1口 5,000円(額面7,500円)
- ④販売総数 1,000口 1人4口まで

財源内訳

国 787万円
一般財源 3150万円

一般管理事業（都市計画）

補正額 850万円

まちづくり推進課都市計画G

事業概要

- 1 上厚真市街地空き地・空き屋・空き店舗活用基本計画策定業務 432万円
- 2 上厚真市街地道路網基本計画策定業務 418万円

業務委託の概要

1・2の業務を一括して契約し、上厚真市街地の整備計画を策定する。住民意見の集約及び計画への反映を含む。

財源内訳

一般財源 850万円

子育て支援給付金事業

補正額 384万円
住民課子育て支援G

事業概要

食費等の物価高騰の影響を受けている0歳から15歳（中学生）までの児童を養育する子育て世帯に対し、給食費等相当額の一部をあつまるポイントで還元する。

財源内訳

国	76万円
一般財源	308万円

社会福祉施設等原油価格高騰対策 支援金支給事業

補正額 411万円
住民課福祉G

物価及び原油価格高騰の影響を受ける医療機関・社会福祉施設等の事業継続を支援し、安定的な医療福祉サービスの提供を図ることを目的に支援金を支給する。

事業概要

- 1 交付対象者 町内に所在する医療福祉サービス事業者
- 2 支援金の額
 - ① 入所施設 定員一人につき 5万円
 - ② 通所施設 定員一人につき1.7万円
 - ③ 無床診療所・歯科医院 1施設あたり 30万円
 - ④ 薬局 1施設あたり 15万円

財源内訳

国	82万円
一般財源	329万円

上厚真市街地店舗整備事業

補正額 7065万円
産業経済課経済G

上厚真市街地の店舗が閉店となり日常生活に支障をきたしているため、早期に店舗を再開し、安心して暮らせる地域づくりに資する。

事業概要

- 1 旧店舗の取得 369万円
- 2 旧店舗周辺の土地の借上 24万円
- 3 店舗改修工事 6667万円
- 4 火災保険料 5万円

財源内訳

道	3333万円
一般財源	3732万円

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援 給付金支給事業

補正額 1890万円
住民課福祉G

電気・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対し、緊急支援として給付金を支給する。

事業概要

- 1 支給対象者 令和5年6月1日において厚真町に住民登録があり、以下のいずれかの条件に該当する世帯
 - ① 世帯全員の令和5年度分の住民税均等割が非課税の世帯（生活保護受給世帯を含む）
 - ② ①に該当しない世帯のうち、予期せず家計が急変し、令和5年1月以降の収入が減少したことにより、世帯全員が住民税非課税相当の収入となった世帯
- 2 支給額 1世帯あたり 3万円

財源内訳

国	1800万円
一般財源	90万円

生涯学習振興事業

補正額 10万円
生涯学習課社会教育G

事業概要

子どもから高齢者まで電子・情報機器の取扱いに関する知識や活用に関する講座を実施する。

財源内訳

国	8万円
一般財源	2万円

地域クラブ活動体制整備事業

補正額 90万円
生涯学習課社会教育G

新たな活動の場となる地域クラブ活動整備について検討することを目的とする。

事業概要

- 1 統括コーディネーター配置
- 2 地域クラブ活動検討会議の開催
- 3 地域指導者向け研修会
- 4 多世代合同練習会

財源内訳

道	86万円
一般財源	4万円

第2回臨時会

3月30日開会

議案第1号
財産の取得

まちなか交流館厨房機器を株式会社UNOから1171万円で取得する。

議案第2号

令和4年度厚真町一般会計補正予算(第19号)

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業に係る繰越明許費4170万円の追加。

承認第1号
専決処分の承認
令和4年度厚真町一般会計補正予算(第18号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ18万円を追加し、歳入歳出予算の総額を96億4085万円とした。

専決処分の理由

公営住宅水漏れ被害に対する損害賠償金18万円の追加。

報告第1号
専決処分の報告

承認第1号に対する報告。

事故発生場所

厚真町表町14番地

示談内容

被害者に過失がなく、過失割合を町の10割負担とし合意。

損害賠償額

18万円

陳情第1号

現役場庁舎を観光資源・教育施設として保存活用する要望

付託年月日

令和4年12月13日

審査の結果

趣旨採択すべきものと決定。

第3回臨時会

5月12日開会

改選後の初議会で、議会構成を決定。

※詳細については2ページを参照。

議案第1号
厚真町条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴う個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税に係る規定の整備。

主な改正内容

肉用牛の売却による事業所得の課税の特例について、適用期間を令和9年度まで3年間延長する規定の整備ほか。

議案第2号

ダム湖眺望広場整備工事請負契約の締結

契約の目的

ダム湖眺望広場整備工事

事

契約の方法

指名競争入札

契約金額

6187万円

契約の相手方

有限会社木本建設

議案第3号

令和5年度厚真町一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ422

万円を追加し、歳入歳出予算の総額を96億6422万円とした。

主な事業は、子育て世帯支援特別給付金支給事業ほか。

承認第1号

専決処分の承認
厚真町課設置条例の一部改正

建設課の事務分掌の一部(土地利用計画に関する事項、都市計画に関する事項、宅地耐震化事業に関する事項)をまちづくり推進課に改正。

報告第1号

専決処分の報告
損害賠償の決定

事故発生場所

厚真町字幌内555番地の1

示談内容

被害者に過失がなく、過失割合を町の10割負担とし合意。

損害賠償額

2万2336円

第4回臨時会

5月22日開会

議案第1号
令和5年度厚真町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1490万円を追加し、歳入歳出予算の総額を96億7912万円とした。
主な事業は、基盤整備田等水田機能強化事業ほか。

議案第2号

令和5年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1241万円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億8214万円とした。

主な事業は、配水管設計支援業務委託ほか。

議案第3号

令和5年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ800万円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億7320万円とした。
事業は、管渠管理事業。

全員協議会

5月12日は経営所得安定対策（水田活用の直接支払交付金等）の変更への取組、5月22日は物価高騰の影響を受けた生活者・事業者への支援ほか1項目。6月14日は胆振東部地震発生から5年にあたっての関連事業について、町から説明を受けた。

5月12日開催

◆経営所得安定対策（水田活用の直接支払交付金等）の変更への取組につ

いて
水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の面積に応じて、令和4年度実績で8億円が配分されている。

水田活用の直接支払交付金について、国は令和5年1月に「5年に1度の水張り」を含めた見直しを決定し、「水張り」の定義は「水稻作付または湛水管理を1か月以上行う」こととされた。

国は、水活の見直しに併せて、転換作物の本作化である「畑地化」を推進する方針を打ち出している。

厚真町農業再生協議会としては、基盤整備済の水田については、畦畔があり用排水も整備されていることから、5年に1度の水張りを行い交付対象水田として維持していくことを基本的な方針とする。

水活交付対象水田を維持するためには、令和8年度まで1回、1か月以上の水張りを実施する必

要があるが、基盤整備工事後、年月が経過している田では、水路や畦畔の修繕が必要となることも想定される。また、令和8年度以降に基盤整備工事が予定されている田では、暫定水源を確保しポンプアップにより水張りを行うことも想定される。農業資材が高騰の1途をたどり農業経営を圧迫している中、水張りを行うため更に経費がかかることが懸念されるため、水張りを行う農業者の支援策を次期議会に補正予算案を提案したいとの説明を受けた。

5月22日開催

◆物価高騰の影響を受けた生活者・事業者への支援について

国では、世界的なエネルギー・食料価格等の物価高騰に対し、負担軽減策を講じているが、依然として物価高が続いている状況にある。

国の追加策として、エネルギー・食料価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に合わせて必要な支援を実施できるよう、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金（町への配分予定額1324万円）」を増額するとともに低所得世帯への支援のための「低所得世帯支援枠（町への配分予定額2587万円）」が措置されたため、支援事業を6月定例会も含め、適時補正予算案を提案したいとの説明を受けた。

◆上厚真市街地整備計画策定とゼロカーボン事業の推進について

ゼロカーボン・ビレッジ整備事業などのゼロカーボン事業の推進に併せて、町道の交通ネットワーク改善や、中心市街地に商業施設など生活利便施設等の立地誘導を図

ることで、立地適正化計画の居住誘導区域としての機能向上を図りながら、良好で魅力的な市街地の形成をめざすために、本年7月から上厚真市街地整備計画の策定に着手する予定。

上厚真市街地北部で整備予定の新たな分譲住宅地は、より魅力ある住環境を整えることでZEHの普及促進と移住定住の促進を図るとの説明を受けた。

※ZEHとは

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略語。「エネルギー収支をゼロ以下にする家」の意味。家庭で使用するエネルギーと、太陽光発電などで創るエネルギーをバランスして、1年間で消費するエネルギーの量をゼロ以下にする家のこと。

6月14日開催

◆胆振東部地震発生から5年にあたっての関連事業について

令和5年度は、胆振東部地震発生から5年となる。

町として積極的に情報発信や行事を開催することで、胆振東部地震の記憶と記録の伝承に寄与することを目的に、次の事業を予定しているとの説明を受けた。

- ・追悼式の開催
- ・追悼音楽会の開催
- ・シンポジウムの開催
- ・メディアへの情報発信
- ・町長記者会見及び「胆振東部地震災害記録誌（仮称）」等の公表

委員会 レポート

新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会

新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会（吉岡茂樹委員長）は、令和5年5月22日に、事務調査1件を行い、その結果を第2回定例会に報告しました。

庁舎周辺等整備基本構想・基本計画等について

【事務調査】

本年度の厚真町議会議員改選後、新人議員4名と再選された議長（議長は、オプザーバー）を除く議員6名で、庁舎周辺等整備基本構想・基本計画等について現在の進捗状況等について、統一見解を図るため説明を求めた。

調査内容

1 策定の経緯・検討プロセス
過去に策定した「厚真町庁舎及び周辺施設整備基本構想・基本計画」について、本町に甚大な被害をもたらした平成30年北海道胆振東部地震や新型コロナウイルス感染症の拡大により、本町の情勢が大きく変化したことから、新たに、北海道胆振東部地震を教訓とした防災力の向上、町民に親しまれ、集まれる場所となるような役場庁舎および

周辺施設の整備に向け、基本構想・基本計画の策定を行う。
2 対象エリア・対象施設
役場庁舎を含む9施設を対象とした周辺施設整備計画。
3 各施設の活用方針
①建て替え施設
役場庁舎、消防庁舎（本部・厚真支署）
②解体後、集約、複合
青少年センター、創作館、児童会館を解体し、文化交流施設、アイヌ歴史文化センター（仮称）へ集約
③解体
旧母子センター、消防職員住宅
④改修
総合福祉センター
⑤継続利用
総合ケアセンターゆくり
4 基本理念、基本方針
『厚真の明るい未来が生まれるひろばの整備を指します』の基本理念をもとに、5つの基本方針を設定。

周辺施設の整備に向け、基本構想・基本計画の策定を行う。
2 対象エリア・対象施設
役場庁舎を含む9施設を対象とした周辺施設整備計画。
3 各施設の活用方針
①建て替え施設
役場庁舎、消防庁舎（本部・厚真支署）
②解体後、集約、複合
青少年センター、創作館、児童会館を解体し、文化交流施設、アイヌ歴史文化センター（仮称）へ集約
③解体
旧母子センター、消防職員住宅
④改修
総合福祉センター
⑤継続利用
総合ケアセンターゆくり
4 基本理念、基本方針
『厚真の明るい未来が生まれるひろばの整備を指します』の基本理念をもとに、5つの基本方針を設定。

区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)
新役場庁舎	基本構想・基本計画	基本設計	実施設計	施工（建設）	供用			
文化交流施設・（仮称）アイヌ歴史文化センター			実施設計	施工（建設）	供用			
総合福祉センター			実施設計	施工（改修）	供用			
広場・公園			実施設計	施工	供用			
消防庁舎			基本設計	実施設計 造成設計	施工（建設）	供用		

事業全体スケジュール

5 各施設の基本計画

① 役場庁舎

(想定規模約2900㎡)

○整備方針

・訪れやすく誰もが利用しやすいサービス拠点づくり

・コンバクトでストレスフリーな庁舎ワークプレイスづくり

・安全安心、頼りがいのある将来を見据えた行政拠点づくり

② 文化交流施設・(仮称)アイヌ歴史文化センター

(想定規模約2360㎡)

○整備方針

・機能が連携、融合した施設づくり

・施設と広場が一体となった「まちのリビング」づくり

・町民が参加する施設の運営、活用

③ 消防庁舎

(想定規模2000㎡)

○整備方針

・消防対策活動拠点として機能を発揮できる施設の整備

・消防に係る訓練、教育の拠点となる施設の整備

・人と環境にやさしい施設の整備

④ 土地利用計画

○整備方針

・周辺との連携、ネットワークを重視

・広場を庁舎周辺エリアの中心に配置

・広場を囲うように新たな建物(役場庁舎、文化交流施設)を配置

⑤ 事業スケジュール

9ページ「事業全体スケジュール」図を参照。

⑥ 概算事業費について

全体事業費約64億500万円

(財源内訳)

・ 国庫支出金23億6800万円

・ 地方債30億9700万円(ただし70%交付税措置のため、実負担額13億1100万円)

・ 庁舎建設基金5億3100万円

・ 一般財源2億2300万円(特別交付税措置除く)

・ 町実負担額10億6600万円(庁舎建設基金を充当した場合)

◎主な意見

・ 現庁舎について、解体するのか、残すのかという問題で、どちらにしても結論が出るとしたら基本設計に影響があるのではないか。

・ 庁舎の財源については、緊急防災・減災事業債が令和7年度がタイムリミットですが、完成が令和8年度になるが、大丈夫なのか。

・ こども園つみきの駐車場・園児と送迎車両の導線について説明願いたい。

渡部議長

全国町村議会議長会会長に就任



プロフィール

昭和38年2月生まれ

平成11年4月、36歳で厚真町議会議員選挙初当選

平成23年より第9代厚真町議会議長(4期目)

令和元年より北海道町村議会議長会会長(2期目)

本町議会の渡部孝樹議長が7月12日に行われた全国町村議会議長会臨時総会で、第37代会長に就任されました。

全国926町村の議長の連合組織で全国知事会、全国都道府県議会議長会と並ぶ地方6団体のひとつで、各町村議会の要望をまとめて国に対しての要望活動などを行う組織です。

「身の引き締まる思い。今、町村が抱える人口減少や少子高齢化など山積みしている問題に、一つ一つ丁寧に議論を重ね、解決の方向へ導いていくため、しっかりと職責を果たしていきたい。」と意気込みを話されました。

北海道町村議会議員研修会レポート

【講師】ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長 五百旗頭 真 氏
政治ジャーナリスト 田崎 史郎 氏

令和5年度北海道町村議会議員研修会が7月4日札幌コンベンションセンターで開催され、全議員が出席した。

北海道町村議会議長会

会長 渡部孝樹氏

本年6月の総会において、北海道町村議会議長会の会長（2期目）に再任された。講演冒頭「144の町村がひとつになり、智恵をしぼりながら互いが切磋琢磨し明日のよりよいまちづくりを目指し振興発展のために力を注いでまいりたい」と挨拶された。これからますます広域でまちづくりを行っていく必要を改めて感じた。

「ウクライナ危機後の世界と日本」

五百旗頭 真 氏

戦後、「日本では軍備を持つてはいけない。戦争を絶対にしてはいけない。日本さえ戦争をしなれば平和だ」と言われてきた。しかし、現在では「戦争をしたくない」だけでは平和は保てない。



相手に戦争をやらせないためにはどうしたらいいのか。自助能力を持つことが重要となってくる。日本を敵にしたら手痛い損失がある、取りに行こうとしたら拒否能力がある、これらのことが大事である。日米同盟の進化ヨーロッパなどグローバルな連携態勢の強化、日中間での経済を通じた部分的な連携をしていく必要がある。自分が行ったアンケート

トの結果「今日の軍事水準で専守防衛だけでは我が国を守れないので反撃能力まで持つべきである」という答えが一番多かったそう、本会場でも一番挙手した議員が多かった。露・ウクライナ戦争を目の当たりにした今考えるべき時にあると感じた。

「日本政治の舞台裏」

田崎 史郎 氏

田崎氏が行ってきた人脈作りについて話された。主な事として、人間関係の維持について。時々、用事を見つけて会いに行く、電話をするなど、相手との関係を継続する努力が大事であること。また、人から聞いた情報は信用していかない。直接、自分で調べる。

次に田崎氏が思っている「リーダーに必要な資質」について説明があった。人事権を持つことが権力の象徴である。形式的に誰かに相談しても、人事を決める事ができる



のは最終的にリーダーの自分である。そして、忍耐力があり、がんこであること。結局、最後まで自分の意志を曲げない。

岸田総理は、これらのリーダーの資質を備えていると田崎氏は考えている。解散時期を誤らなければ次期も自民党総裁になると予想。2017年安倍総理が決断した解散総選挙についての説明があった。

岸田内閣の解散時期を見るためには2つの政治日程を知っておく必要がある。一つ目は、来年9月に岸田自民党総裁の任

期が切れる。二つ目に、衆議院議員の任期は2025年10月31日まで。この2つの任期を考慮した結果、今年9月解散、10月選挙と予想した。田崎氏の経験や、取材を基にしたの解説であったので、わかりやすく説得力のある講演であった。

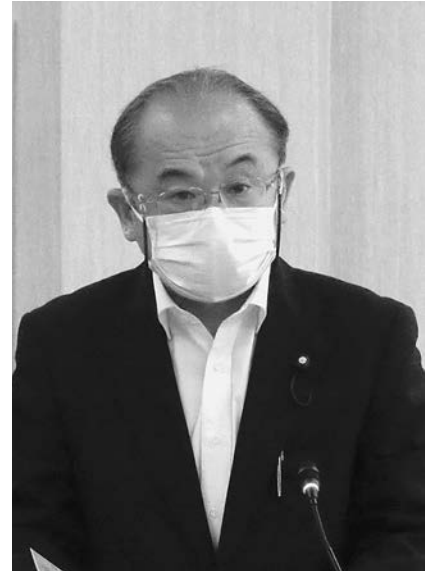
一般質問

ここが聞きたい

国民健康保険料

激変緩和後、今後の動向は

答 18%ほど上がる試算、軽減策を講じる



伊藤富志夫 議員

町長 道に一本化され6年を迎え、上昇率2%で激変緩和措置がとられてきた。医療費水準の一人当たりの保険料に対する配慮数値が1であったが、今年度は半減、今後はゼロにする動きだ。結果今年度の試算は、1人当たり18%ほど上昇する。これに対しては軽減策を講じる。国保料・税については結論として国保料で

また国保料の軽減策で、未就学児の均等割5割軽減が実施されるようになったが、町独自策で「18歳まで拡大出来ないか」を再度聞く。

問 国民健康保険料の主管が町から道へ移行して激変緩和措置が執られてきたが、今年度でその事が終了する。それに伴い、今後の動向はどうなるか。また今年度はどうなるか。また以前、国保料・国保税についてメリット・デメリットを検討すると答弁したが、結果はどうか。

いく。国保税にすれば相当な基金が必要。18歳までの拡大については、拡大人数93名プラスで、約100万円の町負担になり、現在は考えていない。

厚真町国民健康保険料医療給付費分の1人当たり調定額

賦課実績年度	1人当たり調定額	予 定 時
令和元年度	89,728円	
令和2年度	94,691円	99,337円
令和3年度	98,757円	104,102円
令和4年度	99,077円	99,031円
令和5年度	109,628円	113,864円



町民憲章

厚真町民憲章の普及・推進を

答 身近に感じてもらえる環境が大切

菅原文子 議員

問 「第4次厚真町総合計画」厚真町教育振興基本計画」の中に町民憲章が織り込まれている。年齢を問わず、先人からの精神を受け継ぎ、たくましい精神とふるさと厚真町を愛する心で平和と繁栄の道を歩み続けることが重要と考える。声に出す、耳にする、目に出ることが大事であることから、もう少し目に触れる機会を検討いただきたい。「厚真町庁舎周辺等整備基本構想」の基本設計において町民憲章をどのようにに検討しているのか。

町長 震災から5年経過し復興への歩みを進めていく時、本町に住むものとして憲章をよりどころ・基調として受け入れていく心にしていきたい。今現存している碑もしっかりと継承し、設計会社に伝えていく。普及について十分検討していく。

教育長 副読本「私たちのふるさと厚真」の冒頭に掲載されており、電子化を進め小学校高学年から中学校3学年まで活用可能となっている。生涯学習の場で幅広く憲章を意識する機会を増やしていく。



厚真町民憲章の碑

一般質問

ここが聞きたい

子育て支援

子育て関連用品・サービスを身近に

答 EC ビジネス(電子商取引)を検討



澤口千里 議員



問 少子化、人口減少が進むと、サービス業・小売業はじめ地域全体の衰退につながる。子育て支援に注力することは、人口減少の波を緩やかにする以上の可能性がある。また昨年度より、国から支給される出産・子育て応援交付金(10万円相当)を、あつまる電子マネー(有効期限6か月)にて支給していることから、その政策的意義を確認するとともに、商工業者に対し、子育て世帯に向けた商品やサービスの提案・あつせんも含めた利便性向上をできないか。

町長 できる限り人口減少を食い止めるためにも住まい、所得の応援に加え、実際に普段の生活に資する実店舗が必要である。本事業は、給付をきっかけに、町全体で子育て応援への機運を醸成したいとの考えであり、年内にはECビジネス(オンライン商取引)で出産期や子育てのためのカタログショッピングのようなものを町内事業者と協力し、地域通貨とかみあわせながら検討したい。

おでかけ支援

不安なく外出できる環境を

答 関係各所と連携し検討

問 買い物やお散歩といった何気ない日常生活はもとより、病院施設や役場、公共施設においても誰もが通りやすい、使いやすい施設やまちづくり、ひいてはユニバーサルデザイン化がなされてしかるべきだと考える。現在は、総合ケアセンターや子育て支援センターですら、紙おむつを捨てて帰ることができない状況。紙おむつを捨てることのできるおむつ替えスペース、簡易に設置できる移動式ベビーケアルームの設置、公園や住宅の総合的なフラット化を進めることはできないか。

町長 胆振東部地震当時の避難所でのお母さんたちの苦勞を振り返ると、避難所としての公共施設の機能は今後整備が進む庁舎周辺の公共施設については向上させてまいりたい。紙おむつについても、受け皿としてごみ箱を用意できるかどうか関係各所と連携し検討したい。また、提案のあった簡易に設置できるケアルームについても総合的に検討を進めたい。

(こんな質問もしました)
◎子育て支援住宅入居者の定住政策について

一般質問

ここが聞きたい

公営住宅

公営住宅の駐車場の増設は

答 駐車スペースを確保していきたい



橋本 豊 議員

問 町では近年公営住宅等、数多く建設されているが駐車場の空き状況はどうなっているのか。不足しているところはないか。来客用の駐車場がない為、歩道や車道に長時間駐車し、通行する車両や地域住民が困惑している所もあると聞いているが、来客専用の駐車場を作れないものか。もちろん用地の問題などあるが入居している方でも車を所有していない方もいるので既存の駐車場の有効活用ではないが、来客者がわかりやすい駐車場を増設できないものか。

町長 公営住宅の駐車場については現在設置済みの来客用の駐車場はその場所によっては来客用というふうに表示されておりますが、数が不足しているのは認識している。入居の割合と空き駐車場の数が合わない、増えている状況にある。駐車場の増設については難しいと思うが、入居者の



公営住宅の駐車場

皆さんには空いているスペースについて認識してもらいしつかりとわかりやすく表示するというこ

とで解決をしていきたい。来客用の駐車スペースも確保していきたい。

一般質問

ここが聞きたい

居住地誘致



寺坂康生 議員

次世代半導体工場関係者の居住地PRは

答 粘り強いPR活動をしていく

町長 町としてはすでに関連機関あるいは関連業者にアプローチを始めています。地理的優位性の高い厚真町として、作業員宿舎には上厚真市街地に。工場稼働後の工場従事者の方々にはフォーラムビレッジに分譲中の54区画、上厚真地区のゼロ・カーボンビレッジに80区画、100区画を整備していく考えで併せて150

問 近隣の千歳市に大規模な次世代半導体工場の建設が進められている。建設工事には最大6千名工場稼働後の工場関係者は千名規模との報道がある中、厚真町は工場計画地に近く通勤圏として居住地にと選んでいただく可能性を考えると人口増加、町内商店街や飲食店等、町内経済の活性化に大変面白い話題ととらえている。町としては今後誘致規模や場所などを含めどのように工場関係者の居住地としての誘致PRを考えているのか。

区画ほど提供ができる。現在ある支援策、加えてZEH制度を利用しながら厚真町の優位性を粘り強くPR活動をしていく。



PRを図っていくフォーラムビレッジ

令和5年度の行政効果と 今年の作況状況を現地調査

行政視察

7月18日、エネルギー6次産業化発電設備(本郷、富里)、厚真町最先端デジタル園芸施設(新町)、厚真中学校陸上グラウンド、旧幅田邸古民家(豊沢)、宮の森こども園ゼロカーボン・モビリティ設備(上厚真)、農作物の作況状況等を確認する「町内行政視察」を行い、町内8か所を視察しました。

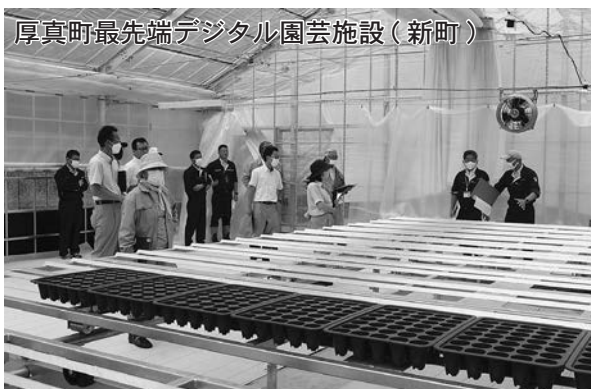
エネルギー6次産業化発電設備(本郷)



エネルギー6次産業化発電設備(富里)



厚真町最先端デジタル園芸施設(新町)



厚真中学校陸上グラウンド(4種ライト)



旧幅田邸古民家(豊沢)



宮の森こども園ゼロカーボン・モビリティ
施設(上厚真)



畑作物生育状況(英和)



水稻生育状況(宇隆)

定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 除斥とは、審議案件と利害関係がある議員がいるときに公正さを保つため、該当する議員を退席させること
 -：議事進行する議長は採決には加わらない

会議・議決日	種類	議案名	議員名											審査結果		
			秋永徹	橋本豊	森田正樹	伊藤富志夫	高田芳和	大捕孝吉	下司義之	木本清登	三國和江	吉岡茂樹	渡部孝樹			
第2回臨時会 3/30	議案第1号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	報告第1号	専決処分の報告（損害賠償額の決定）	報告事項のため採決はない											報告済		
	承認第1号	専決処分の承認（令和4年度厚真町一般会計補正予算（第18号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
	議案第2号	令和4年度厚真町一般会計補正予算（第19号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	陳情第1号	現役場庁舎を観光施設・教育施設として保存活用する要望	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨採択

会議・議決日	種類	議案名	議員名											審査結果	
			澤口千里	寺坂康生	折坂泰宏	菅原文子	秋永徹	橋本豊	伊藤富志夫	高田芳和	三國和江	吉岡茂樹	渡部孝樹		
第3回臨時会 5/12	同意第1号	厚真町監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	-	同意決定
	議案第1号	厚真町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第2号	ダム湖眺望広場整備工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第3号	令和5年度厚真町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	承認第1号	専決処分の承認（厚真町課設置条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	報告第1号	専決処分の報告（損害賠償額の決定）	報告事項のため採決はない											報告済	
第4回臨時会 5/22	議案第1号	令和5年度厚真町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第2号	令和5年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第3号	令和5年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 -：議事進行する議長は採決には加わらない

会議・議決日	種類	議案名	議員名											審査結果	
			澤口千里	寺坂康生	折坂泰宏	菅原文子	秋永徹	橋本豊	伊藤富志夫	高田芳和	三國和江	吉岡茂樹	渡部孝樹		
第2回定例会 6/13	報告第5号	委員会調査報告(新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会)	報告事項のため採決はない											報告済	
	報告第6号	現金出納例月検査の結果報告	報告事項のため採決はない											報告済	
	同意第1号~第14号	厚真町農業委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	適任
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第1号	厚真町手数料徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第2号	厚真町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第3号	厚真町高齢者グループホーム維持運営基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第4号	厚真町浄化槽市町村整備推進事業に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第5号	豊沢地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事(その5)請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第6号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
第2回定例会 6/14	議案第7号	令和5年度厚真町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	原案可決
	議案第8号	令和5年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算(介護サービス事業勘定(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	原案可決
	議案第9号	令和5年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	原案可決
	議案第10号	令和5年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	原案可決
	承認第1号	専決処分(令和4年度厚真町一般会計補正予算(第20号))の承認	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	原案承認
	報告第1号	厚真町情報公開条例の運用状況の報告	報告事項のため採決はない											報告済	
	報告第2号	厚真町土地開発公社の業務等の報告	報告事項のため採決はない											報告済	
	報告第3号	予算(令和4年度厚真町一般会計)の繰越	報告事項のため採決はない											報告済	
	報告第4号	予算(令和4年度厚真町公共下水道事業特別会計)の繰越	報告事項のため採決はない											報告済	
	議案第11号	令和5年度厚真町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	原案可決



【4月】

- 3日 議会広報特別委員会
- 5日 転入教職員歓迎会
- 10日 議会広報特別委員会
- 11日 交通安全推進委員会総会、とまこまい広域農業協同組合第22回通常総代会
- 25日 現金出納例月検査
- 28日 神戸典臣氏 感謝と思い出の集い

【5月】

- 11日 セーフティコールあつま
- 12日 第3回臨時会、全員協議会、議員協議会
- 16日 胆振管内町村議会議長会第1回定期総会(～17日)
- 17日 厚真ダム水神宮取水式・祈願祭
- 18日 厚真町商工会通常総会・懇親会
- 19日 令和5年度苫小牧地方総合開発期成会総会、第1回胆振東部消防組合議会臨時会
- 22日 第4回臨時会、全員協議会、新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会
- 23日 令和5年度全国町村議会議長・副議長研修会
- 25日 現金出納例月検査
- 26日 厚真町観光協会総会、第1回胆振東部日高西部衛生組合議会臨時会

- 27日 厚真中学校体育大会
- 28日 第73回北海道植樹祭
- 29日 「かけ橋」お披露目会
- 30日 全国町村議会議長会正副会長会議、制度運営委員会、理事会
第2回安平・厚真行政事務組合議会臨時会
- 31日 豪雪議事会理事会・総会、都道府県会長会・互助会代議委員会、会館評議員会

【6月】

- 2日 全道正副議長会議・理事会
- 3日 第39回前沢牛まつり(～4日)
- 6日 議員協議会
- 7日 議会運営委員会
- 10日 元議員会親睦会定期総会
- 11日 厚真中央小学校運動会
- 13日 第2回定例会、全員協議会、議員協議会、議員会総会、議会広報特別委員会(～14日)
- 15日 北海道町村議会議長会第74回定期総会
- 17日 厚真フィールドチャレンジ競技会
- 20日 北海道・東北町村議会議長・局長会議(～21日)
- 23日 現金出納例月検査
- 24日 第51回あつま田舎まつり前夜祭開会式、姉妹都市締結40周年記念植樹
- 25日 田舎まつり本祭、第44回厚真支所農業まつり豊稔祈願祭式典
- 26日 あつまスタンプ会定期株主総会懇談会
- 27日 定期監査(工事監査)(～28日)
- 30日 厚真町農業再生協議会

スポーツ少年団紹介

厚真ファイターズ

紹介者：岡橋 実乃里さん

厚真ファイターズは、町内外で活動する少年野球チームです。今期は、追分イーグルスとの合同チーム「厚真・追分イースターズ」を結成し、シーズン前から準備をしてきました。

息の合ったプレーで、練習試合や公式戦に挑んでいますので、皆さま応援よろしくお願ひします！

練習や大会のみならず、体験会も実施しております。もちろん見学からでも大歓迎です。一緒に楽しく野球をしてみませんか？ 新しい仲間に出会えるのを、心よりお待ちしております！

1979年設立

- ◆ 代表者 寺坂 康生さん
- ◆ 活動日 毎週火・木・土曜日
- ◆ 活動場所 中央小グラウンド、上厚真中央公園、追分柏ヶ丘球場
- ◆ 連絡先 橋場 直人さん
090 - 3117 - 2771

